

北海道学会 アンケート結果

賛助会広報委員会 2023年9月



アンケート概要

1. アンケート実施日時
2023年8月31日～9月1日

2. 会場
札幌コンベンションセンター
賛助会ブース

3. アンケート方式
アンケート用紙記入方式

令和5年9月吉日


全国自治体病院協議会・賛助会
 Japan Municipal Hospital Association・Partners

当賛助会は、自治体病院の皆様のお役に立つことが出来るよう心がけて活動しております。今後より良い活動を行えるよう本アンケートにご協力下さいませようお願い致します。以下の各項目について番号に○、又はご意見を頂ければ幸いです。何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

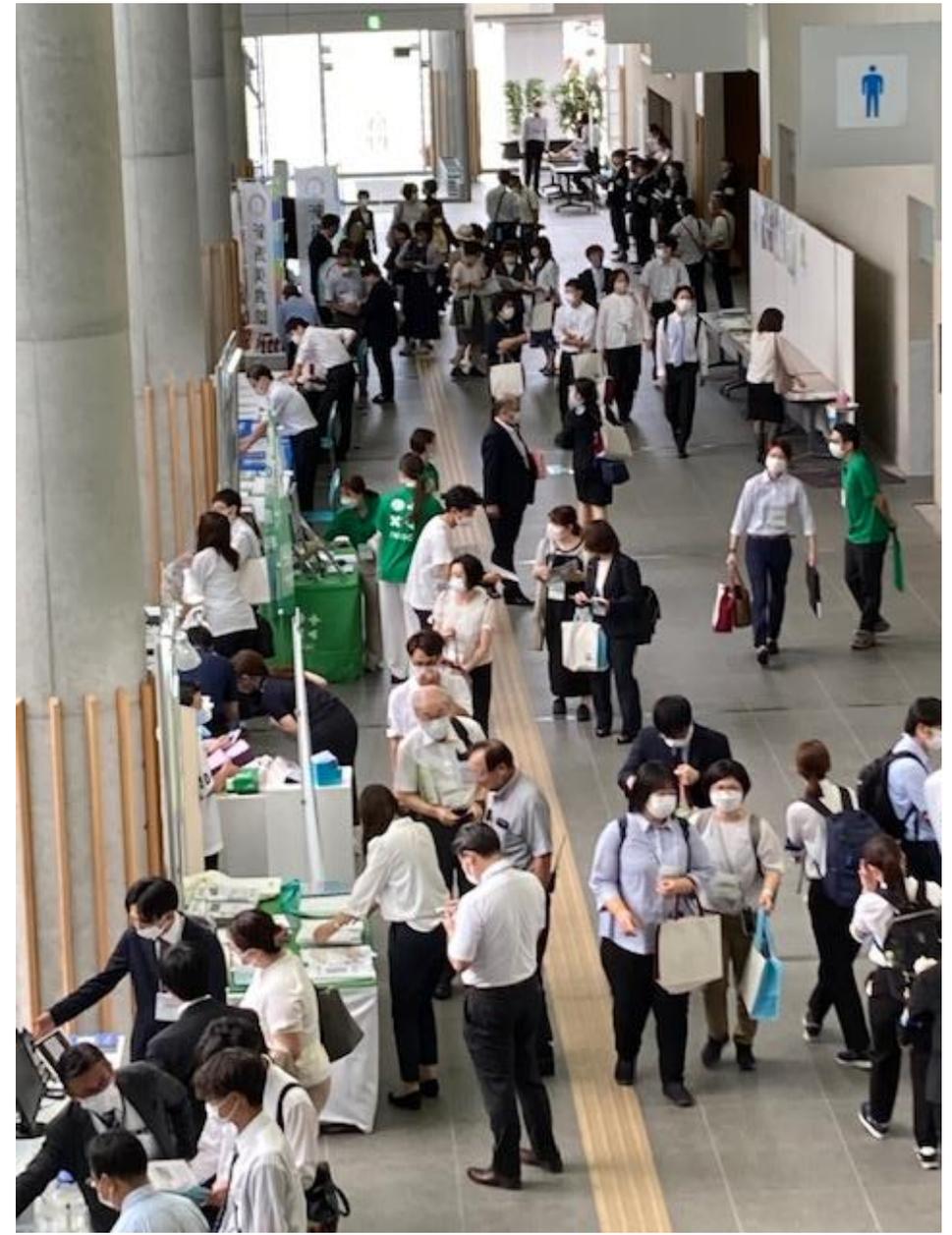
- ご職種
あてはまるご職種に○をつけて下さい。
①院長・事業管理者 ②医師 ③看護師 ④薬剤師 ⑤その他()
- 賛助会を知っていますか？
① はい
② いいえ
はいと回答された方にお聞きします。どこでお知りになりましたか？
① 協議会主催の全国学会やブロック会議
② ホームページ
③ 広報誌(賛助会が発行している“かけはし”)
- 賛助会が発行している広報誌(かけはし)を知っていますか？
① はい
② いいえ
はいと回答された方にお聞きします。
① 掲載内容がおもしろい
② 掲載内容に興味がない
③ 分からない
どんな内容に興味がありますか？()
- 賛助会では、医療DXに関する情報発信を検討しています。裏面の回答欄に○をつけて下さい。(複数)

ご興味のある情報の回答欄に○をつけて下さい。(複数回答可)

分類	お役立ち情報	回答欄
1 医師支援 (文書作成支援、診断支援等)	遠隔サマリや紹介状など、時間のかかる文書作成を効率化するシステム。	
	生命保険診断書や主治医意見書等の公的文書の作成を効率化するシステム。	○
	多職種協働による各種チーム医療に関する業務を効率化するシステム。	
	カンファレンスを効率化するシステム。	
2 看護支援 (バイタル管理支援、輸液管理支援等)	ポンプの動作状態を離れた端末で確認することで、輸液管理を効率化し看護にゆとりをもたらします。ポンプの稼働状況・メンテナンス情報を無線で確認・設定するシステムを提供。通信機能付きバイタル測定器を活用した看護業務の効率化。タブレットを用いた医療情報システムとの連携。	○
	医療安全支援 (医療事故防止、検査・同意書管理、検査報告書確認支援等)	○
	患者サービス向上 (待ち時間短縮、手続き簡略化等)	○
3 医療安全支援 (医療事故防止、検査・同意書管理、検査報告書確認支援等)	薬物療法業務における医療事故・ヒヤリハット、病棟看護業務の効率化に対し、処方指示のポンプ連携、投与状況のモニタリングで安全・効率化をサポート。 非医薬品業務のスマート化：病棟業務の効率化・医療安全・患者サービス向上の為に、院内電線の適正管理を行い、役に立つ電線の可視化技術の活用。 NFC連携機能付きバイタル測定機器、輸液管理システム連携での医療安全、働き方改革に貢献するベッドサイドでのソリューションを提案。	○
	経営支援 (施設基準管理、物品購入費用削減支援等)	
4 患者サービス向上 (待ち時間短縮、手続き簡略化等)	外来運用のスマート化：患者様の来院から受付、診療、会計までの一連の流れを効率化し、業務負担の軽減や患者サービスを向上。 病棟運用のスマート化：IoTを活用した入院患者サービス・見守り、スマートデバイスやコミュニケーションツール活用による病棟スタッフの業務効率化。 院内物流のスマート化：デジタル技術による、トレーサビリティの確保やロボット搬送などロボティクス技術を活用した省人化・業務効率化。	○
	経営支援 (施設基準管理、物品購入費用削減支援等)	
5 経営支援 (施設基準管理、物品購入費用削減支援等)	医療情報システム及び病院内事務システムに関する整備計画策定・調達支援コンサルティング業務。	
	情報活用 (地域連携データ共有等)	地域医療連携における、連携病院及びクリニックでの検査データ共有とデータの標準化の推進。 離れた場所でも無線通信によってバイタル情報を遠くからかつ正確に共有することで働き方改革、医療安全の向上、業務の効率化をサポート。
6 情報活用 (地域連携データ共有等)	AIを搭載した、診療報酬請求防止支援システム。	
7 医事課支援		
8 その他 (ご意見等ございましたらご記入下さい)		

アンケートへのご協力有難うございました。

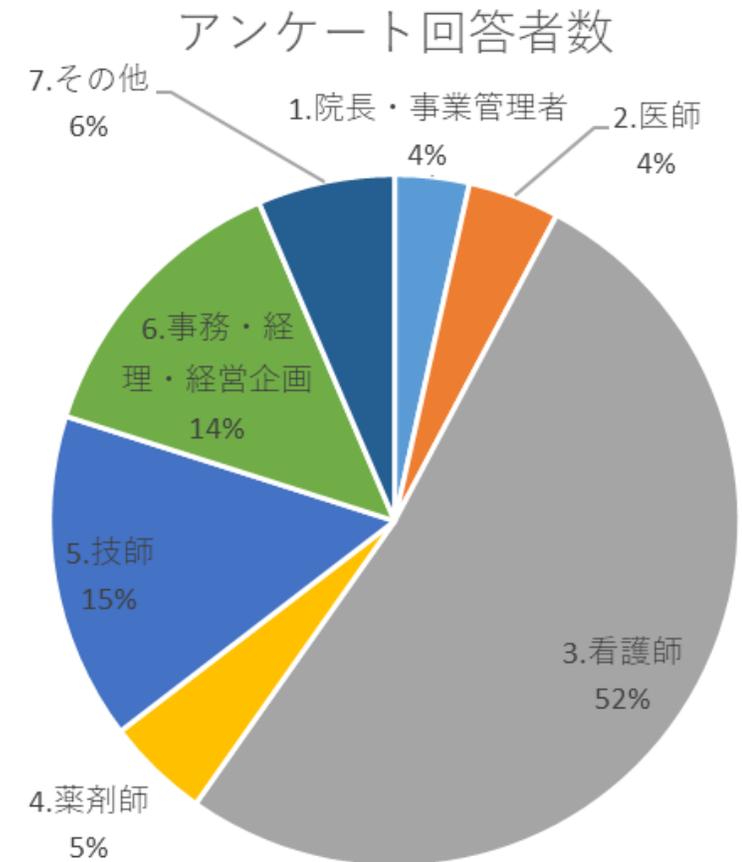
賛助会ブースの様子



アンケート状況

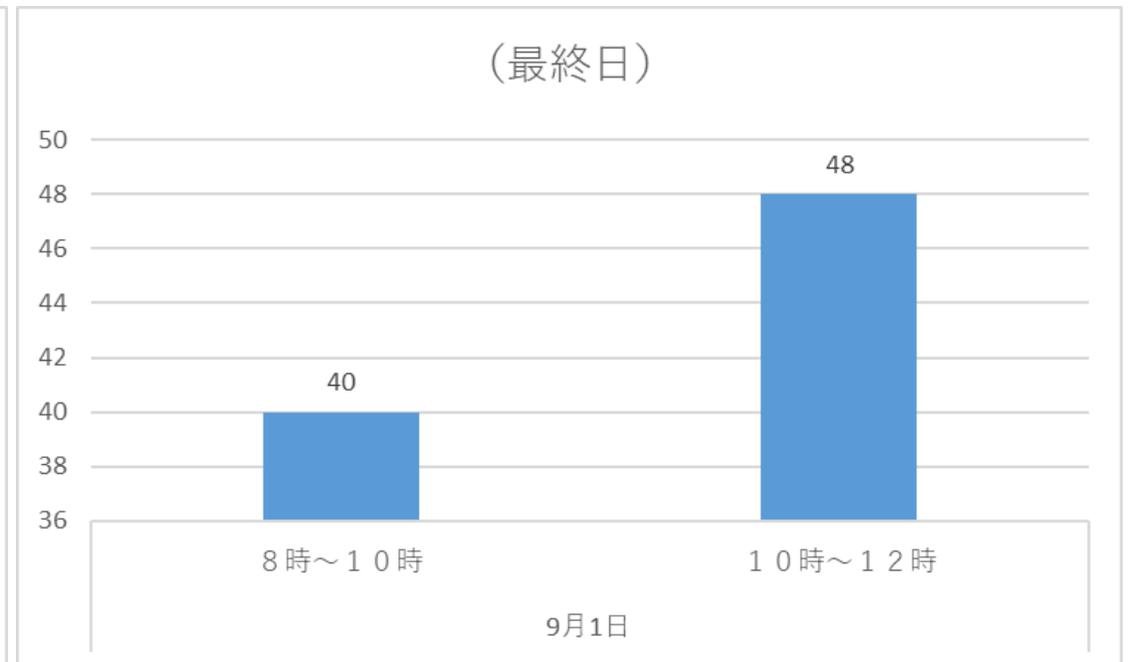
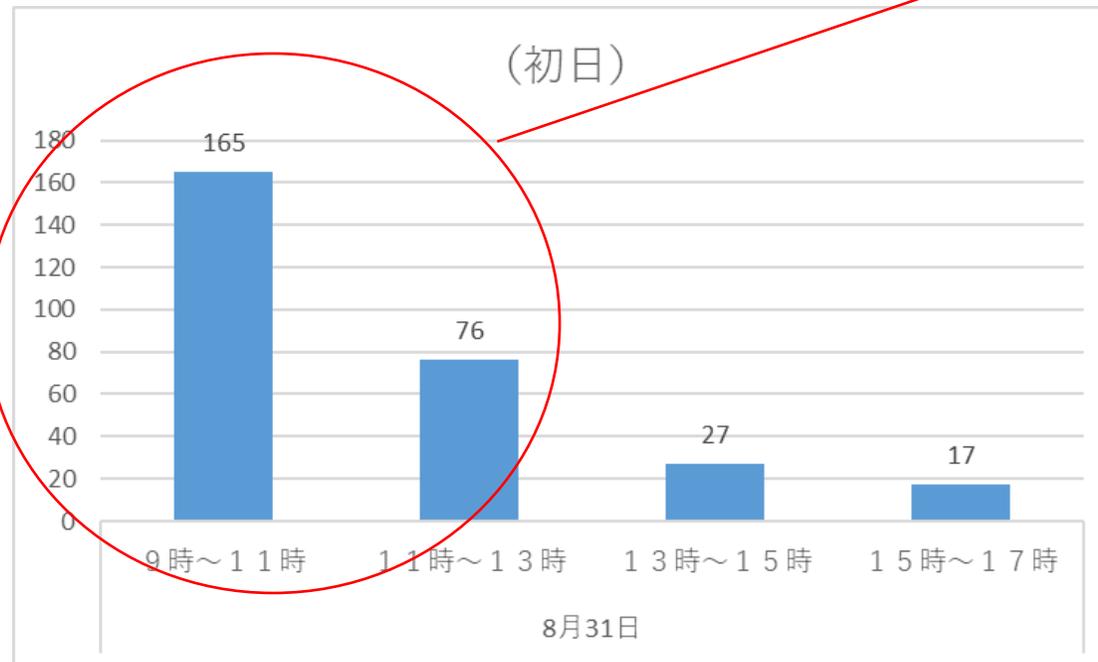
- アンケート回答頂いた人数は **373人**であった（学会参加者総数 **3,312名**の1割以上に相当）
- 職種別では看護師（52%）が多かった。

	アンケート回答者数
1.院長・事業管理者	13
2.医師	16
3.看護師	194
4.薬剤師	18
5.技師	57
6.事務・経理・経営企画	51
7.その他	24
総計	373



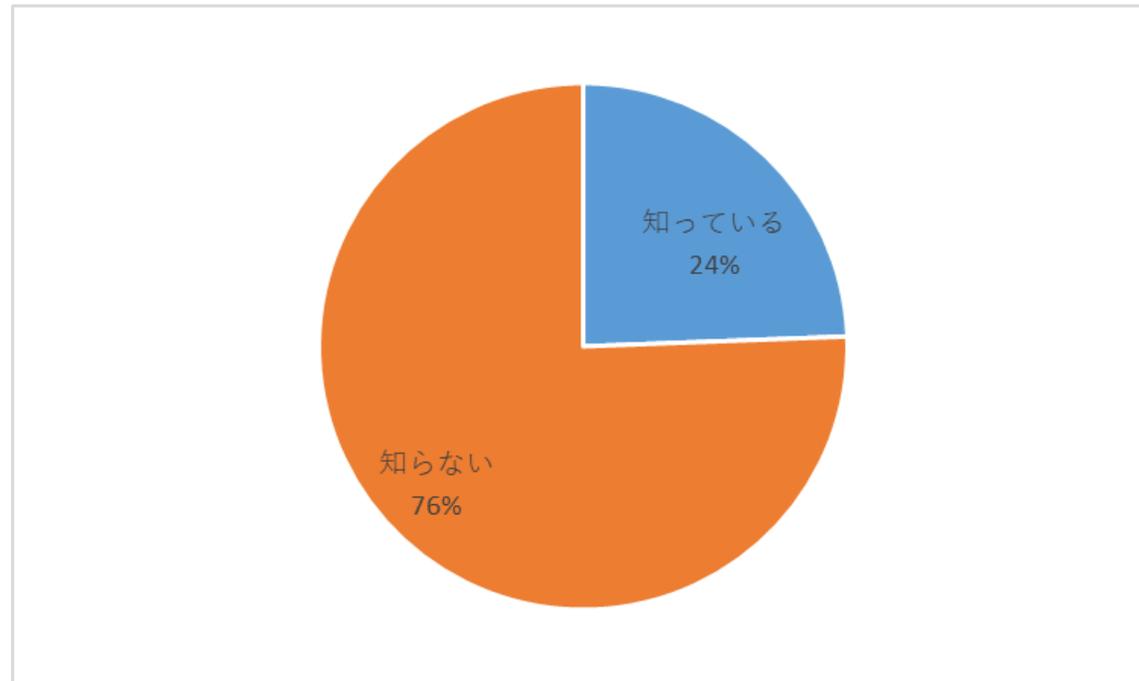
時間帯別アンケート者数

- ▶ 時間帯別のアンケート者数を見てみると、**初日の9時～11時が最も多く**全体373人に対し**44%**であった。
- ▶ 尚、**9時～13時までで全体の65%**を占めている。



賛助会知名度調査

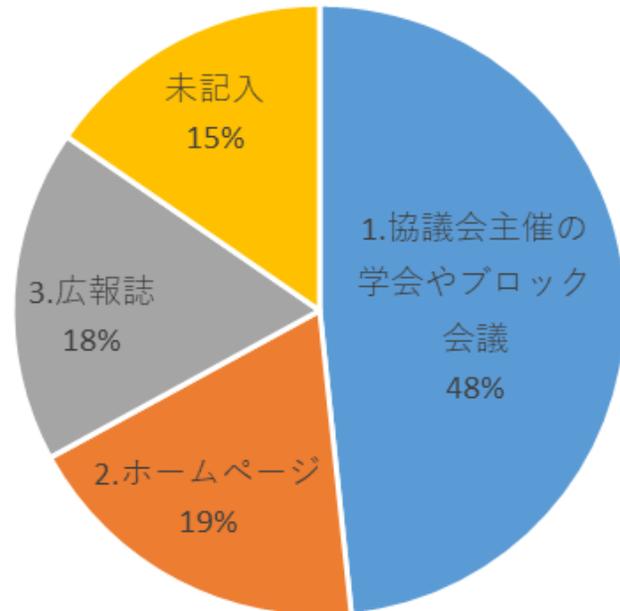
- 賛助会を知っているかの調査では「知っている」と答えた人は**24%**であった。
- 職種別にしてみると「知っている」との回答は**院長・事業管理者が多く**、職種により偏りがみられた。



	知っている	知らない	総計
1.院長・事業管理者	10	3	13
2.医師	2	14	16
3.看護師	46	148	194
4.薬剤師	4	14	18
5.技師	12	45	57
6.事務・経理・経営企画	13	38	51
7.その他	4	20	24
総計	91	282	373

賛助会を知っている理由

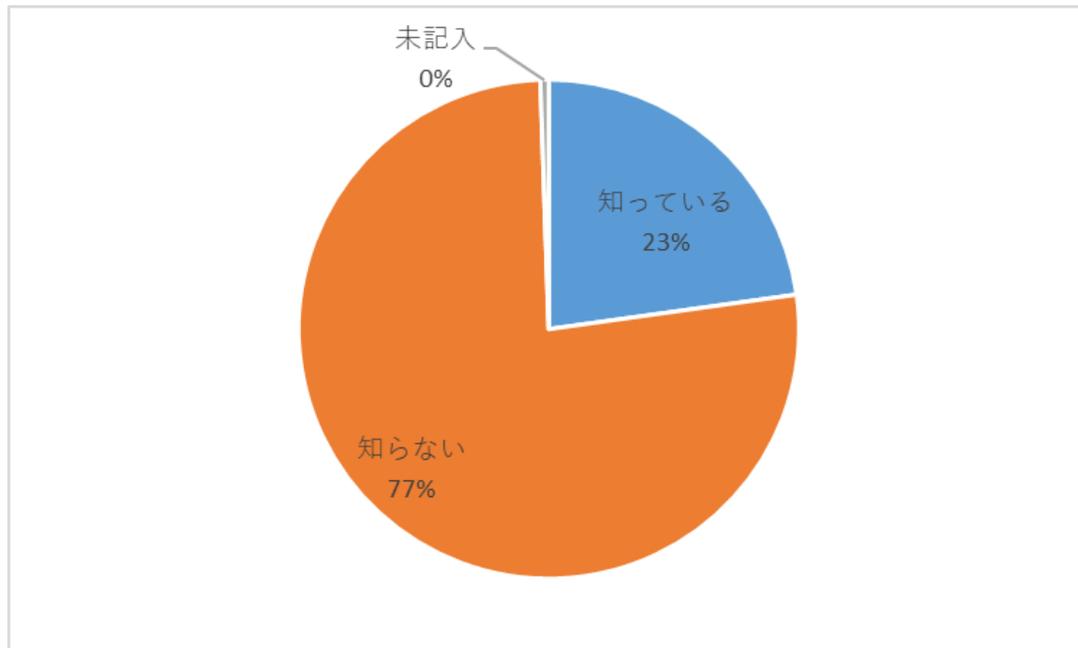
➤どの職種においても、**協議会主催の学会やブロック会議で知った**という理由が多く、全体では**48%**となった。



	1.協議会主催の学会 やブロック会議	2.ホームページ	3.広報誌	未記入	総計
1.院長・事業管理者	6	1	1	2	10
2.医師			1	1	2
3.看護師	23	8	9	6	46
4.薬剤師		1	2	1	4
5.技師	6	5		1	12
6.事務・経理・経営企画	6	1	3	3	13
7.その他	3	1			4
総計	44	17	16	14	91

広報誌の認知度調査

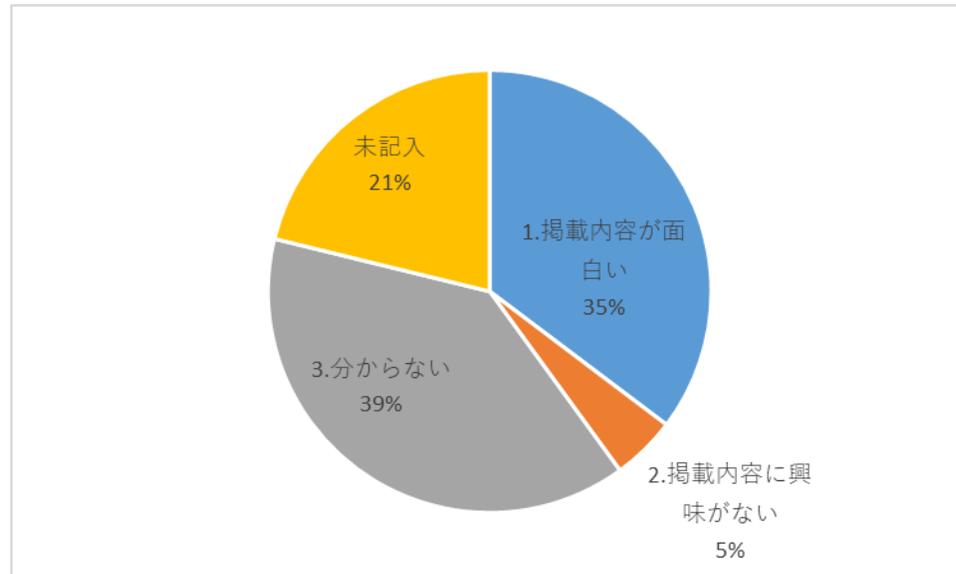
- 広報誌の認知度調査では「知っている」と答えた人は**23%**であった。
- 職種別にしてみると「知っている」との回答は**院長・事業管理者が多く**、職種により偏りがみられた。



	知っている	知らない	未記入	総計
1.院長・事業管理者	9	4		13
2.医師	4	12		16
3.看護師	38	154	2	194
4.薬剤師	3	15		18
5.技師	9	48		57
6.事務・経理・経営企画	14	37		51
7.その他	8	16		24
総計	85	286	2	373

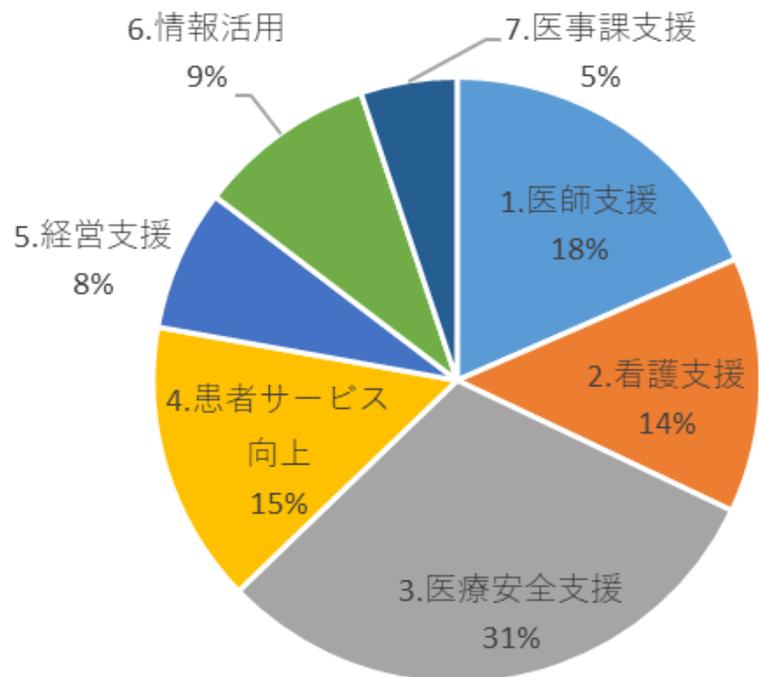
広報誌の中身調査

- 広報誌を知っていると回答した人に中身について調査した結果、掲載内容が面白いと答えた人は、**35%**であった。
- 職種別に見てみると、**院長・事業管理者及び看護師が「掲載内容が面白い」**とした人が多かった。



	1.掲載内容が面白い	2.掲載内容に興味がない	3.分からない	未記入	総計
1.院長・事業管理者	5		2	2	9
2.医師			2	2	4
3.看護師	17	2	11	8	38
4.薬剤師			2	1	3
5.技師	1		6	2	9
6.事務・経理・経営企画	3	1	7	3	14
7.その他	4	1	3		8
総計	30	4	33	18	85

医療DXにおいて関心のあるテーマ調査



▶全体の上位では、
 医療安全支援（31%）
 医師支援（18%）
 患者サービス（15%）
 看護支援（14%）となった。

▶職種別（事務部門・その他以外）に見ても
医療安全支援が多いことが分かる

	1. 医師支援	2. 看護支援	3. 医療安全支援	4. 患者サービス向上	5. 経営支援	6. 情報活用	7. 医事課支援
1. 院長・事業管理者	28	10	31	14	12	8	7
2. 医師	40	10	42	21	10	18	6
3. 看護師	190	274	459	224	69	121	48
4. 薬剤師	27	4	26	13	10	10	7
5. 技師	59	17	119	38	16	27	22
6. 事務・経理・経営企画	72	10	49	34	55	26	28
7. その他	34	7	23	23	12	22	7
総計	450	332	749	367	184	232	125

分類別テーマ関心度調査（医師支援）

	1.退院サマリ～	1.生命保険診断～	1.多職種協議～	1.カンファレンス～
1.院長・事業管理者	8	8	7	5
2.医師	15	9	11	5
3.看護師	50	16	65	59
4.薬剤師	8	2	10	7
5.技師	16	5	22	16
6.事務・経理・経営企画	28	14	16	14
7.その他	7	3	15	9
総計	132	57	146	115

医師支援（文書作成支援，診断支援等）	退院サマリや紹介状など、時間のかかる文書作成を効率化するシステム。
	生命保険診断書や主治医意見書等の公的文書の作成を効率化するシステム。
	多職種協働による各種チーム医療に関する業務を効率化するシステム。
	カンファレンスを効率化するシステム。

分類別テーマ関心度調査（看護支援）

	2.ポンプの動作～	2.通信機能付き～
1.院長・事業管理者	3	7
2.医師	5	5
3.看護師	129	145
4.薬剤師	2	2
5.技師	9	8
6.事務・経理・経営企画	3	7
7.その他	2	5
総計	153	179

看護支援(バイタル管理支援, 輸液管理支援等)	ポンプの動作状態を離れた端末で確認することで、輸液管理を効率化し看護にゆとりをもたらします。ポンプの稼働状況・メンテナンス情報を無線で確認・設定するシステムを提供。
	通信機能付きバイタル測定器を活用した看護業務の効率化。タブレットを用いて医療情報システムとの連携。

分類別テーマ関心度調査（医療安全支援）

	3.薬物療法～	3.非医療業務～	3.NFC通信～	3.同意書の電子～	3.入院予定や～	3.検査結果を～	3.検査レポート～
1.院長・事業管理者	4	3	4	7	3	3	7
2.医師	8	4	4	8	3	8	6
3.看護師	79	44	65	96	76	50	50
4.薬剤師	12	1	3	2	2	4	2
5.技師	15	13	10	25	11	21	24
6.事務・経理・経営企画	7	5	5	11	9	7	5
7.その他	3	3	2	8	3	1	3
総計	128	73	93	157	107	94	97

医療安全支援（医療事故防止、検査・同意書管理、検査報告書確認支援等）	薬物療法業務における医療事故・ヒヤリハット、病棟看護業務の効率に対し、処方指示のポンプ連携、投与状況のモニタリングで安全・効率化をサポート。
	非医療業務のスマート化：病院業務の効率化・医療安全・患者サービス向上の為に、院内電波の適正管理を行い、役にたつ電波の可視化技術の活用。
	「NFC通信機能を有する医療機器等と情報システムとの連携」での医療安全、働き方改革に貢献するベッドサイドソリューションを提案。
	同意書の電子サインが行えるシステム。
	入院予定や手術予定の患者一覧に対して必要な検査や同意書がとれているかの確認を効率的に行えるシステム。
	検査結果をはじめとした診療情報を効率的に参照できるシステム。
	検査レポートの未読による医療事故を防止するシステム。

分類別テーマ関心度調査（患者サービス向上）

	4.外来運用～	4.病棟運用～	4.院内物流の～
1.院長・事業管理者	6	2	6
2.医師	10	7	4
3.看護師	91	87	46
4.薬剤師	3	6	4
5.技師	16	14	8
6.事務・経理・経営企画	21	8	5
7.その他	12	6	5
総計	159	130	78

患者サービス向上(待ち時間短縮, 手続き簡略化等)	外来運用のスマート化：患者様の来院から受付、診察、会計までの一連の流れを効率化し、業務負荷の軽減や患者サービスを向上。
	病棟運用のスマート化：IoTを活用した入院患者サービス・見守り、スマートデバイスやコミュニケーションツール活用による病棟スタッフの業務効率化。
	院内物流のスマート化：デジタル技術による、トレーサビリティの確保やロボット搬送などロボティクス技術を活用した省人化・業務効率化。

分類別テーマ関心度調査（経営支援）

	5.単なるデジタル～	5.会員制WEB～	5.医療情報システム～
1.院長・事業管理者	5	4	3
2.医師	7	2	1
3.看護師	35	14	20
4.薬剤師	5	2	3
5.技師	7	6	3
6.事務・経理・経営企画	19	15	21
7.その他	5	2	5
総計	83	45	56

経営支援（施設基準管理，物品購入費用抑制支援等）	単なるデジタル化ではなく、真のDXとして組織変革や患者価値向上を実現します。初期診断であるべき姿を策定し、適正価格で過不足ないDXを行うためのコンサルティング支援。
	会員制WEBサービスによる医療機器購入価格・保守費用等ベンチマークシステムと医療機器採算シミュレーターシステム。
	医療情報システム及び病院内事務系システムに関する整備計画策定・調達支援コンサルティング業務。

分類別テーマ関心度調査（情報活用）

	6.地域医療連携～	6.離れた場所でも～
1.院長・事業管理者	6	2
2.医師	14	4
3.看護師	71	50
4.薬剤師	8	2
5.技師	19	8
6.事務・経理・経営企画	15	11
7.その他	14	8
総計	147	85

情報活用（地域連携データ共有等）	地域医療連携における、連携病院及びクリニックでの検査データ共有とデータの標準化の推進。
	離れた場所でも無線通信によってバイタル情報を速やかにかつ正確に共有することで働き方改革、医療安全の向上、業務の効率化をサポート。

分類別テーマ関心度調査（医事課支援）

	7.AIを搭載した～
1.院長・事業管理者	7
2.医師	6
3.看護師	48
4.薬剤師	7
5.技師	22
6.事務・経理・経営企画	28
7.その他	7
総計	125

医事課支援（請求漏れ管理支援，AI問診等）	「AIを搭載した、診療報酬請求漏れ防止支援システム」
-----------------------	----------------------------

まとめ

- アンケート回答職種別では看護師（52%）が最多であった。
- 医療DXにおいて関心のあるテーマは、医療安全支援（31%）、医師支援（18%）、患者サービス（15%）、看護支援（14%）の順となった。職種別（事務部門・その他以外）に見ても医療安全支援への関心が高い結果となった。
- 医療安全支援の中で関心のある情報は、同意書の電子サインが行えるシステム（157ポイント）、薬物療法業務における医療事故・ヒヤリハット、病棟看護業務の効率化に対し、処方指示のポンプ連携、投与状況のモニタリングで安全・効率化をサポート（128ポイント）、入院予定や手術予定の患者一覧に対して必要な検査や同意書がとれているかの確認を効率的に行えるシステム（107ポイント）の順で、看護師の日常業務と密接なものが上位となった。